

第296回2月臨時教育委員会議事録

委員会次第

1. 開会宣言
2. 教育長あいさつ
3. 会議録の承認
4. 審議事項
5. 報告事項
6. 閉会宣言

開会日時

令和8年2月25日（水）午後2時00分

会場

安来市役所 安来庁舎 3階 301会議室

出席委員の氏名

教育長	秦 誠 司
委員	青 砥 洋
委員	原 智
委員	寺 田 禎 子
委員	遠 藤 惠 子

出席者の氏名

教育部長	遠 藤 浩 司	全議題
教育総務課長	岩 崎 幸 志	全議題
学校教育課長	三 代 和 宏	全議題
給食教育課長	内 藤 有 里 子	全議題
文化課長	金 山 尚 志	全議題
教育総務課主査	加 藤 理 子	全議題
学校教育課主査	小 西 修 二	全議題
教育総務課主幹	徳 永 敦 雄	全議題

1. 開会宣言

午後2時00分 教育長が開会を宣言する。

2. 教育長あいさつ

(教育長)

先ほどの総合教育会議では様々な視点から、ご意見をいただきありがとうございました。新たな安来市の目指す教育の方向性が定まったかなと思っておりますので、また各学校にも伝え、それらを元にして各学校の教育目標等を設定していくこととなりますので、しっかりPRをしていきたいと思っております。

3. 会議録の承認

第295回2月定例教育委員会

(承認)

4. 審議事項

1) 議第32号 市議会3月定例会議提出議案(令和7年度3月補正予算関係) (教育部長) 資料1により説明

今回の補正は、計44項目の補正予算がありますが、そのほとんどが、年度末を迎え、年度内に予算執行することがないと判断された予算、いわゆる不用額について、減額する補正予算であります。その主なものについて、まずは、放課後児童健全育成事業ですが、マイナス850万円です。内容としましては、放課後児童クラブへの委託料のマイナスであり、年度当初は、クラブの活動内容として見込んでいた、障がいのある児童の受入れや送迎支援事業などの項目が、想定を下回り減額となったものです。なお、事業実施されています17クラブへは、総額1億6,937万円余が支出される見込みです。次に、小学校施設維持・管理、中学校施設維持・管理ですが、報酬、職員手当、共済費が減額の主なものとなっております。これは、以降の学校教育課や文化課においても、同様に人件費の減額による補正予算が出てまいります。実績による減額であり、勤務実績による減、配置人数の減などがその理由となっております。なお、人件費につきましては、例年、このように年度当初に十分な予算を確保した上で、最終の補正予算にて減額する流れとなっております。次に、就学援助事業、マイナス785万6千円です。基準に基づき、対象者に支給される扶助費がありますが、支給しなかったという理由ではなく、十分な予算を確保した上での残額であるにご理解ください。次に、中学校振興費ですが、負担金補助及び交付金として、マイナス338万円となっております。これは、

中学校における遠距離通学費補助及び大会などの生徒派遣費交付金の実績に基づく、減額であります。次に、総合文化ホール整備事業、マイナス388万8千円ですが、令和8年度までの年次計画にて実施しております照明のLED化の予算残の減額となります。次に、和鋼博物館改修事業、マイナス514万円ですが、予算の概要説明にもありますが、工期及び工事内容の変更により、令和7年度の予算を減額し、令和8年度を増額する措置によるものです。これにより、前回説明しました債務負担行為もあわせて補正となります。次に、黒井田町地内埋蔵文化財発掘調査事業マイナス1,536万5千円ですが、これは事業者による事業所の敷地拡張により、埋蔵文化財発掘調査の必要があったため、措置していたものです。しかしながら、事業者の都合により、対象地が変更となったため、次年度に改めて試掘調査となり、予算を大幅に減額するものです。以降の地域振興課予算につきましては、これまでと同様に減額予算であります。

(委員)

学校教育課の部活動地域指導活用支援事業は、決算見込みによる減額で、国県支出金の減ということですが、報酬部分の実績として減になったということでしょうか。

(教育部長)

部活動の地域指導につきましては報酬の方法に何種類かございます。その中で、国の補助金を利用してというのは、その方を雇用するハードルも高いということがございまして、今回その該当となる方が予算の措置はしていたがおられなかったということでした。市単独、県費を用いての部活動支援員の方につきましては、予定通り配置することができたというものでございます。

(委員)

学校教育課でスポーツ振興センター負担金というのがありますけれども、スポーツ振興センターとはどのようなものですか。

(学校教育課長)

学校での活動や部活動中に怪我をした場合に、スポーツ振興センターに申請すれば、病院にかかる費用等の支払いをしてもらえるという保険的なものでございます。

(教育長)

スポーツ振興センターは独立行政法人で、この負担金の減は児童生徒数が見込みより少なかったことによるものです。このスポーツ振興センター掛金というのは、個人負担させている自治体もありますが、安来市は市で全額負担しておりますので、保護者の負担はございません。安来市では中

学生までは医療費が無料となっておりますが、学校で起こった事故につきましても、市の財源のことなどもあり、こちらの機関を使っていただく形でとお話しております。

(教育部長)

安来市では中学生まで医療費が無料ですが、このスポーツ振興センター制度を活用していただいております。というのも医療保険者の負担になることから、優先順位としては、学校で起こった場合はこの保険をかけているのでまずはそちらから適用くださいとしており、そのあたりはきちっと精査をされております。

(委員)

先ほどの説明を聞くと、実績による減額が非常に多くて、減額ができるほどまで予算をつけていただいていると言うことで、教育委員会事務局の努力により財源をきちんと確保してくださっているということなので、ここは感謝するところだなと思います。ありがとうございます。

(委員)

文化課の市内遺跡発掘調査等事業の減額は具体的にはどのようなものでしょうか。

(文化課長)

これは飯梨の穴神古墳という所で調査をしているもので、安来市指定文化財の候補になっているので、古墳の規模、時期を明らかにするための学術調査を現在しているところですが、国の補助金の額が想定よりも少なかったので、その分を減額して、国の補助の範囲で実施するということでございます。

(委員)

現在は指定になってますか。

(文化課長)

いいえ、まだです。これから指定するにあたって、その古墳の性格をよりはっきりさせて、重要性を明らかにするための調査を行っております。

(委員)

文化課の歴史資料館事業のところ、歴史資料館の入館料と雑収入を増額するということですが、これは入館料が高くなったのか、それとも入場者が増えたのですか。雑収入とはどのようなものが入っているのですか。

(文化課長)

昨年より入館者が4000人から6000人に増えているということで増額になりました。雑収入は、御朱印帳などの売り上げが去年よりも増えたものです。

(委員)

I C T教育推進事業実績ですが、何か予定してたが何もなかったということなんでしょうか。

(学校教育課長)

I C T教育推進事業にはI C T指導講師の報酬が入っております。予算としては2名分の指導講師を雇用する予定でしたが、条件に合わず1名のままで今年度過ごすことになったということと、データを保存するドライブの補修管理の業者に支払う委託料が、想定よりも安くなったため減額するものです。

(承認)

2) 議第33号 安来市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について

(教育総務課長) 資料2により説明

制定する理由は、デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律を踏まえ、アナログ規制の見直しに伴い、関係規則を整備するためです。この件については、安来市議会9月定例会議での条例改正として、9月定例教育委員会で、説明した案件と同様の内容です。改正前は、第2条第3項で、「規則等の公布は、安来市役所の掲示板に掲示してこれを行う。」としていたものを、改正後には、「電磁的記録により市のウェブサイトを設置した掲示板に掲示すること」と改正するものです。具体的に現在告示や公告を行っているものとして、本日開催しておりますこの教育委員会の招集の告示とか、1月定例教育委員会でご承認を頂いた山佐小学校の閉校に伴う「安来市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則」などについて、告示を行っております。附則として、この規則は令和8年4月1日から施行いたします。

(承認)

5. 報告事項

1) 報第17号 安来市立中学校における部活動の地域連携・地域展開に係る方針について

次回定例会

3月25日（水）13：30から

6. 閉会宣言

教育長が午後3時10分閉会を宣言し、2月臨時教育委員会の日程を終了した。